

産技研NEWS ちえのわ

No.29

令和3年度 第2号

2021.9 Sep.

地方独立行政法人京都市産業技術研究所 機関誌

<http://tc-kyoto.or.jp/>

CONTENTS

02 【研究所・チーム紹介】

- 京都市産技研 令和3年度研究チームの紹介
- 金属系チーム
- 工芸・漆チーム

04 【特集】

- ご利用に関するアンケート（顧客満足度調査）結果

06 受賞報告

- 令和3年度「科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）」受賞

お知らせ

- セルロースナノファイバー（CNF）の提案が採択

07 受賞報告

- プラスチック成形加工学会 第3回若手奨励賞を受賞
- 令和2年度 日本繊維製品消費科学会 年度論文賞を受賞

お知らせ

- Advances In Engineering社の
Key Scientific Article（主要科学論文）に選出

08 事業紹介

- 令和3年度 京都ものづくり協力会会長賞 授与式
- 京都造紙工業研究会創立70周年記念講演会を開催

09 成果事例紹介

- マルチに使える飛沫防止パーテーション「Patapata」

若手作家・職人インタビュー

- 第19回 高地 佐代子 さん

10 知恵産業融合センター成果事例紹介

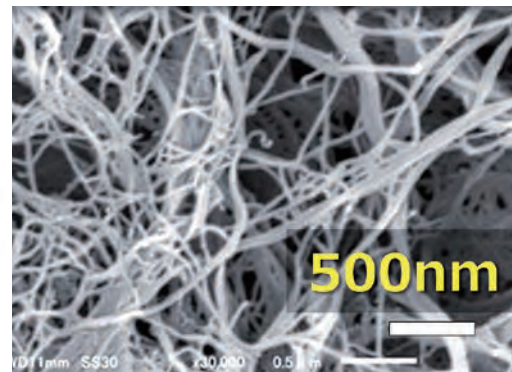
- 無鉛フリットを活用した新たな陶磁器の開発

11 お知らせ

- 京都市産技研へのご寄付について（（株）T・N・Jホールディングス）
- ロボット技術導入支援のためのPRデモ機をお披露目

12 お知らせ

- 令和3年度 競争的資金新規獲得情報
- 陶板にレーザー加工装飾 KRP10号館に採用
- 京都市産技研バーチャルツアーOPEN



京都市産技研 令和3年度研究チームの紹介

京都市産技研の成果を積極的に発信し、京都市内企業・業界への貢献につなげるために、各チーム、部署が連携して、産業技術の向上に取り組みます。研究チームを連載で順次紹介してまいります。

金属系チーム

6名／嘱託1名

研究・技術分野：

金属材料，機械的物性評価，化学分析・機器分析，
微小部観察・構造解析，ナノ材料，粉末焼結技術，
接合技術，材料化学，金属化学

リーダー：南 秀明

担当研究会：京都先端技術研究会



陶磁器チーム

4名

研究・技術分野：

陶磁器釉薬，素地，焼成，
陶磁器製造，加飾技術

リーダー：田口 肇（研究部長事務取扱）

担当研究会：京都陶磁器研究会



工芸・漆チーム

3名

研究・技術分野：

漆・漆器，塗料，文化財修復，天然材料，
工芸デザイン，3Dスキャン，3Dプリント

リーダー：橘 洋一



バイオ系チーム

5名

研究・技術分野：

発酵，醸造，分離分析（クロマトグラフィー，電気泳動），
バイオ計測

リーダー：和田 潤

担当研究会：京都酒造工業研究会



高分子系チーム

4名／嘱託3名

研究・技術分野：

高分子材料，プラスチック複合材料，成形加工技術，
プラスチック材料・成形品の特性評価，セルロース
ナノファイバー

リーダー：仙波 健

担当研究会：京都合成樹脂研究会



表面処理チーム

3名

研究・技術分野：

電気めっき，電鍍，無電解めっき，陽極酸化，
微細加工，触媒作製，表面処理，表面形状評価

リーダー：山本 貴代

担当研究会：鍍秀会



色染チーム

7名

研究・技術分野：

染色加工，機能加工，染色堅ろう度，色彩管理，
化学分析，染色デザイン，京友禅・京染，
天然染料，染色セルロースナノファイバー

リーダー：上坂 貴宏

担当研究会：京都染色研究会，京染・精練染色研究会



ファインセラミックスチーム

2名

研究・技術分野：

粉末成形技術，セラミックス製造，
物性評価，無機材料

リーダー：高石 大吾

担当研究会：京都セラミックフォーラム



製織システム・DXチーム

5名

研究・技術分野：

製織及び製織準備，繊維製品性能評価，感性評価，
ソフトウェア，ロボティクス，AR（拡張現実）

リーダー：廣澤 覚

担当研究会：西陣織物研究会



バイオ計測センター活用推進チーム 3名／兼職3名／嘱託1名

研究・技術分野：

醸造，食品，環境，診断などのバイオ・有機分野の
計測に関する技術

管理者：山本 佳宏



デザインチーム

3名／兼職2名

研究・技術分野：

各種デザイン技術，3DCG/CAD/VR/3Dスキャン/3D
プリント／レーザー加工機等の活用，ユニバーサルデザイン，
伝統技法・伝統染織の意匠収集と活用

リーダー：比嘉 明子

（事業化支援・広報担当課長事務取扱）

担当研究会：京都工芸研究会



知恵産業融合センター

4名

研究・技術分野：

知恵産業推進事業，研究開発支援，事業化・製品化促進，
企業マッチングの推進，情報発信，補助金申請支援

センター長：廣岡 青央

担当研究会：京都ものづくり協力会



金属系チーム

Metallic Materials Lab.

地域企業の金属に関する破損や変色などの「困った」を解決し、最終的に相談して「良かった」と喜んでいただくために、金属分析、強度試験、表面観察、非破壊試験、振動試験などのメニューを用意して、様々な課題解決に取り組んでいます。

最近では、環境負荷低減を目指した要望も多く、「金属材料をリフレッシュして長く使いたい」、「希少金属、有害物質の使用を低減したい」という声を受け、毒劇物を使わない金属工具の表面コーティング膜の除去方法を検討し、環境に優しい新規除膜液の開発・商品化に至りました。

また、金属が融ける温度を新発想の原理でコントロールした高耐熱接合技術や金属ナノ材料製造技術、金属粉末焼結技術などのオリジナリティあふれる研究開発にも取り組んでいます。

Members

南 秀明／分析化学 無機分析前処理

塩見 昌平／金属ナノ粒子合成制御

小濱 和之／接合界面制御

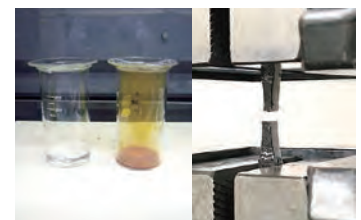
根津 芳伸／振動環境信頼性評価

丸岡 智樹／粉末冶金 表面分析

山梨 真生／金属材料表面科学 元素・構造分析

菊内 康正／金属疲労 破損解析

関連動画



部品・製品の安全性評価・強度試験

「京都ものづくり力の向上」を支える
分析・解析技術



焼結材料の省プロセス・高付加価値化

「持続可能な環境調和型社会の実現」に
向けた研究開発

工芸・漆チーム

Crafts and Japanese lacquer Lab.

本チームは、伝統技術と先進技術の融合を合言葉に、京都の伝統技術の材料として名高い漆を中心とし、膠や植物性油などの伝統的材料の試験・分析、技術相談、研究開発から工芸デザインに至るまで、地域企業からの技術課題に対応した取組を行い、業界に貢献しています。また、持続可能なモノづくりに不可欠な人材を育成するため、京都の漆関連業界の後継者育成研修として漆工コース・漆工応用コースを40年以上継続して進めており、公設試験機関としては全国に例のない事業となっています。

研究開発の取組では、「漆の活用方法のバリエーションを増やしたい」という地域企業の要望を受けて、チームの研究成果である漆中の水分を細かく均一に分散する技術を駆使し、これまでにない高い透明度を持つ漆を作り出すことに成功しました。この漆は、8月に商品化されたばかりですが、その特性をいかした新たな漆活用の可能性をさらに広げ、業界支援につなげていきます。(→ 関連記事p.8)

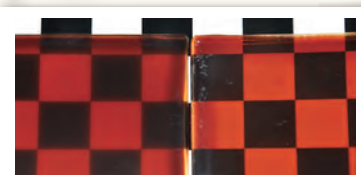
Members

橘 洋一／漆・天然材料に関わる研究

竹浪 祐介／プロダクトデザイン 漆器などの工芸デザイン全般

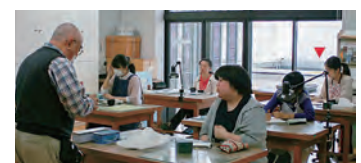
池永 誠／漆に関わる研究

関連動画



「新しい」漆の開発 高透明度の漆塗膜

漆の研究



漆工コース・漆工応用コース

後継者育成



漆の新たな展開（漆塗り自動用スプーン）

工芸デザイン



株式会社 島津製作所 Shimadzu Corporation

科学技術で社会に貢献する。

 **SHIMADZU**
Excellence in Science

島津製作所がすべきこと。

医療現場に必要な検査試薬・装置を届けること。

感染症に立ち向かう、技術や製品の研究開発を進めること。

ワクチン・治療薬の開発をサポートすること。

私たちは、科学技術の力で、医療の最前線を支援します。



<https://www.shimadzu.co.jp/covid-19/>

ご協力ありがとうございます！

京都市産技研

ご利用に関するアンケート（顧客満足度調査）結果

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間に、京都市産技研の事業・サービスを利用された皆様にご協力いただき、ご利用に関するアンケート（顧客満足度調査）を実施しました。お寄せいただいた回答やご意見をもとに、今後より一層、質の高いサービスを提供できるよう、業務運営や支援方法の改善に活用してまいります。



アンケート
全文

なお、調査結果の全文は京都市産技研ホームページに掲載しています。

調査概要

*項目中の割合は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

1 調査対象 1,311名

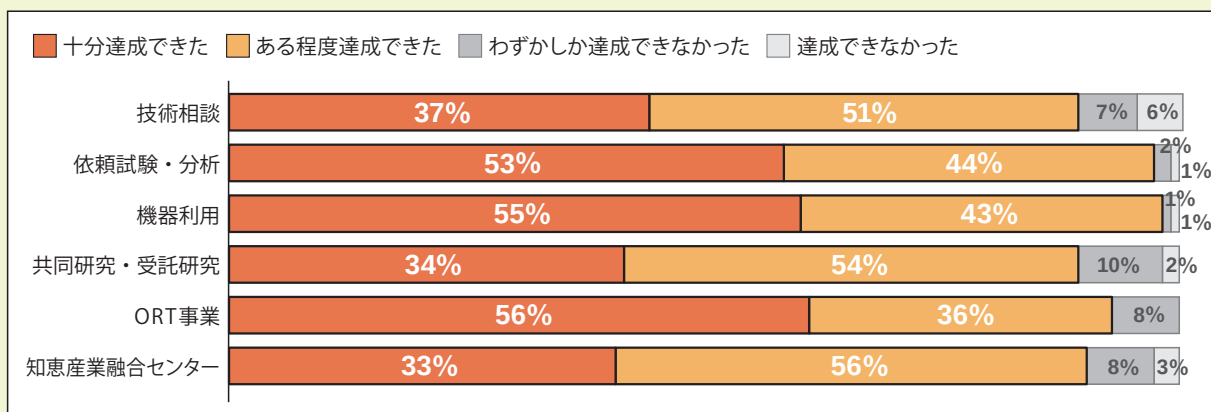
2 回答数 574名（回答率 44%）

※事業所所在地：

京都市内 338名（59%）、京都府内（市内を除く）84名（15%）、京都府外 151名（26%）、無回答 1名

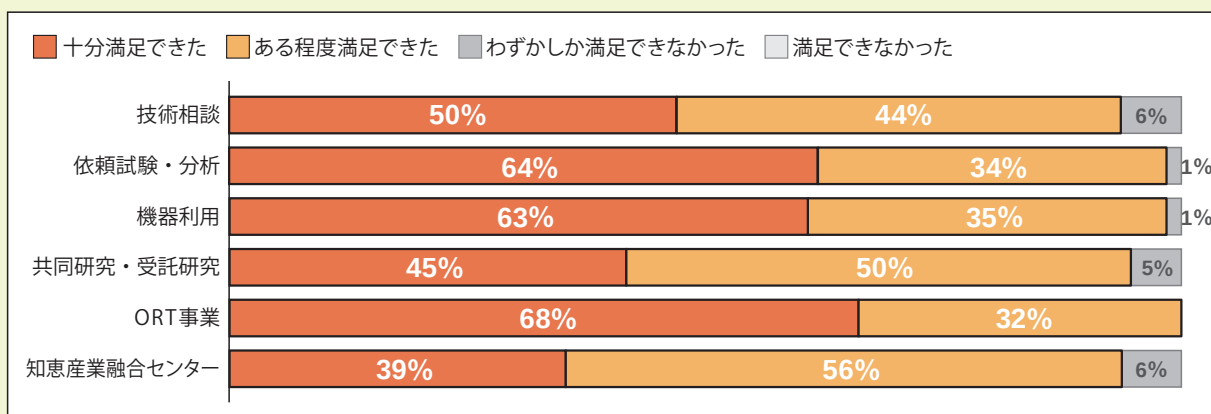
3 アンケート結果概要

●**目的達成度**：ご利用の目的が達成されたかを事業別にお尋ねしました。



各項目ともに**85%以上**の利用者様から「達成できた」（太枠部分）との回答。特に、知恵産業融合センター事業は「達成できた」とする回答が、前年度から大きく伸びました（73%→89%）。

●**利用満足度**：利用時の職員の対応や料金等を含めた総合的な満足度を、事業別にお尋ねしました。



各項目ともに**90%以上**の利用者様から「満足できた」（太枠部分）との回答。目的達成度と同様、知恵産業融合センター事業について「満足できた」とする回答が大きく伸び（85%→95%）、ORT事業では「満足できた」の割合が**100%**となりました。

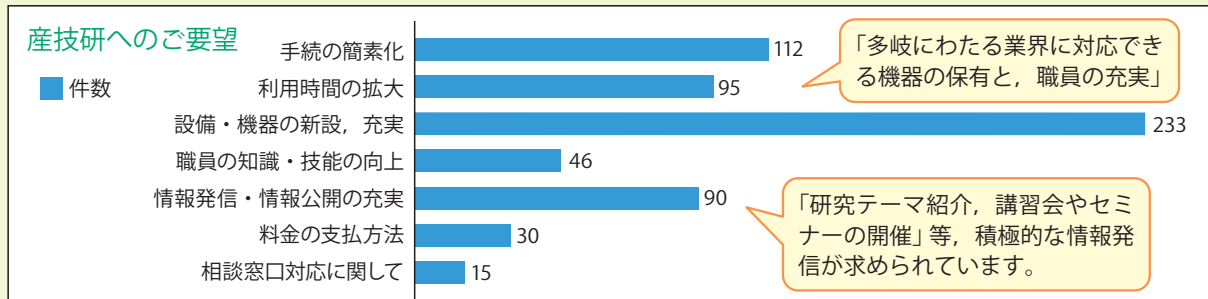
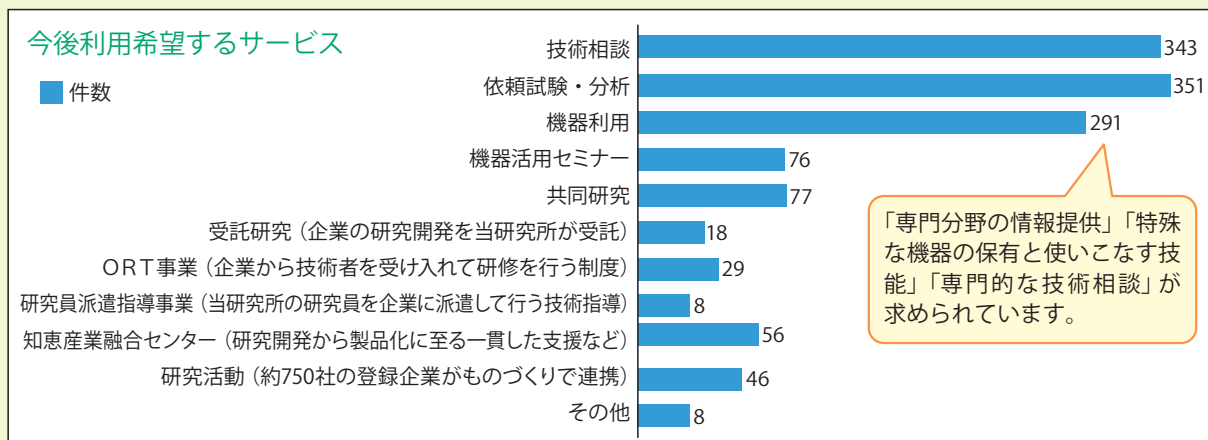
- サービス利用による効果額：京都市産技研を利用したことにより、コストや人件費の削減、売上の増加などから、自社が得られたと思われる利益を金額換算していただきました。

効果額	件数	割合
0～50万円程度	289	55.3%
50万～100万円程度	90	17.2%
100万～300万円程度	60	11.5%
300万～500万円程度	28	5.4%
500万～1,000万円程度	29	5.5%
1,000万～3,000万円程度	16	3.1%
3,000万～5,000万円程度	6	1.1%
5,000万～1億円程度	4	0.8%
1億～	1	0.2%
合計	523	100%

【効果の具体的事由】

- バーチャルで着用イメージを見ることができるAR試着システムを活用することで、着装の手間を省き接客時間の短縮につながった。お客様へ提案しやすく、コロナ禍において大変有効な販促ツールとなっている。
- 当初は金属系チームに分析を依頼したが、内容を踏まえてより適切な分析が可能な高分子系チームに連携していただいた。当社製品の特長を熟知した研究員がいるからこそその対応で、感謝している。
- 研究所の試験機器利用により、高額な装置を自社で購入せずに試験結果が得られている。技術的なアドバイスも頂き、開発が良い方向へ進んだ。
- 不具合や異物付着クレームの分析を依頼し、特殊な設備と経験に基づく測定で、大きなトラブルを回避できた。
など

●京都市産技研に期待される役割



【ご要望の具体例】

- オンラインセミナーを増やしていただきたい。架け橋となるような交流を深める場もオンライン開催があればより良い。
- 研究成果の情報発信の頻度と精度を上げるべきだと思う。利用方法の解説や京都市産技研の研究活動内容を広く広報すべき。
- 小規模事業者は少量の製作であり、機械の購入が難しいため、高額な機器・特殊な機器が利用できて助かる。今後
も更に設備・機器の導入を進めていただきたい。
など

令和3年度「科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）」受賞

この度、高分子系チーム 北川和男研究フェロー、仙波健研究副主幹が、京都大学 矢野浩之教授、星光PMC株式会社 佐藤明弘氏と共に令和3年度「科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）」を受賞いたしました。本賞は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を文部科学省が顕彰するものです。

受賞内容

「セルロースナノファイバー複合樹脂製造プロセスの開発」

本成果は、カーボンニュートラルな植物バイオマスの先進的マテリアル利用による温室効果ガスの削減、持続型脱炭素化社会の構築に寄与するものです。
(高分子系チーム)



お知らせ

セルロースナノファイバー（CNF）の提案が採択

京都市産技研提案のCNFの社会実装に向けた2つの事業が採択され、令和3年6月から事業開始しました。

一つは、地域産業デジタル化支援事業（経済産業省）で、CNF製品の生産性向上に向けたデジタル技術導入支援やCNF普及のセミナー開催、マッチングなどを実施していきます。

もう一つは、令和3年度脱炭素革新素材セルロースナノファイバー普及のための課題解決支援事業（環

境省・京都大学及び（一社）サステナブル経営推進機構との共同提案）で、CNF材料の提供と継続したフォローアップにて幅広い事業者を支援していきます。

脱炭素社会の実現に向けて植物由来のCNFの活用に関心が高まっており、京都市産技研では、これまでの研究開発と事業化支援の実績の下、両事業の取組を通じてCNFの社会実装を加速してまいります。

(高分子系チーム 横田 久幸)

新製品

株式会社日立ハイテク 多機能プローブ顕微鏡システム -AFM100 Plus / AFM100 システム- 「操作性と信頼性、スループットの向上を追求」

研究開発現場、生産現場、教育現場など様々な場面での AFM 装置の普及を目的に、操作性と信頼性、スループットの向上を追求し開発された小型高分解能ユニットです。

販売代理店



株式会社 増田医科器械
理化学事業部

〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町50番地
TEL 075-623-7114 FAX 075-623-7134
E-mail : rika-c@masudaika.co.jp

プラスチック成形加工学会 第3回若手奨励賞を受賞

高分子系チーム伊藤彰浩主席研究員が「セルロースナノファイバー強化プラスチックの発泡成形」に関する研究や学会活動の成果が認められ、第3回（令和2年度）プラスチック成形加工学会若手奨励賞を受賞しました。

同賞はプラスチック成形加工及び関連分野における若手研究者・技術者の活発な研究を奨励するとともに、将来において該分野の発展のために貢献できる人材を育成することを目的として設立された、満40歳未満の正会員を対象とした賞です。今後も引き続き知見を深めるとともに、技術的支援及び業界の活性化に繋げてまいります。

（高分子系チーム）



令和2年度 日本繊維製品消費科学会 年度論文賞を受賞

製織システム・DXチーム本田元志主席研究員を筆頭著者とする論文「畳み込みニューラルネットワークを用いたピリング等級判定の試み」が、令和2年度日本繊維製品消費科学会の年度論文賞を受賞しました。この賞は、当該年度の学会誌に発表された論文の中から、特に優秀と認められた論文の著者に授与されるものです。本研究の成果が、保証された品質の被服を提供できることに繋がる点、工業的に意義が認められる点について評価されました。チームでは引き続き人工ニューラルネットワークなどの機械学習に関する研究の実用化を進めるとともに、得られた知見を技術的支援に活用してまいります。

（製織システム・DXチーム）



お知らせ

Advances In Engineering社のKey Scientific Article（主要科学論文）に選出

金属系チーム塩見昌平主席研究員を筆頭著者とする論文「Magnetic field strength controlled liquid phase syntheses of ferromagnetic metal nanowire」が、カナダのリサーチ会社Advances In Engineering (AIE) 社のKey Scientific Article（主要科学論文）に選出されました。

AIE社は、主な工学系学術雑誌から実用的、応用的観点で重要な基礎研究を抜き出し（採択率は0.1%未満）、世界に向けてその研究成果を広報しています。

今回掲載された論文は、液相還元法によるニッケ

ルナノワイヤーの合成において外部磁場がナノワイヤー形成に及ぼす影響について調べ、ナノワイヤーの形成メカニズムを明らかにしたものです。

（金属系チーム）

AIE社の記事はこちら
<https://advanceseng.com/metallic-nanowire-magnetic-field-control-morphology/>



論文はこちら
<https://doi.org/10.1088/1361-6528/ab93ef>



西陣織工業組合

<https://nishijin.or.jp/>

075-432-6131

西陣織元コレクション西陣織会館 ONLINE

<https://nishijin-online.org/>

075-451-9231

令和3年度 京都ものづくり協力会 会長賞 授与式

日頃の研究活動等を通じて顕著な研究成果並びに業績をあげた京都市産技研職員に対し、令和3年6月30日（水）に京都ものづくり協力会会長賞が授与されました。

受賞した研究内容

『文化的工芸品』のデザイン要素を活用したライフスタイルブランドの構築

デザインチーム 松原 剛，松田 なつみ，
沖田 実嘉子，比嘉 明子

京都市のものづくり企業4社とともに、文化的価値があるデザイン要素を活用した商品開発に取り組むため、林原美術館（岡山市）の協力を得て「京都×能装束文化ものづくりプロジェクト」を立ち上げました。コンセプトの『桃山モード。それは「凛とした可憐さ」』に基づき、ライフスタイル商品を開発しました。これらの販売促進支援として、展示販売会への出展、SNSを通じた情報発信、プロモーションビデオの制作などに取り組みました。



（後列左から）木村副会長，松田次席研究員，沖田次席研究員，比嘉研究主幹，山崎副会長
（前列左から）松原主席研究員，西本理事長，大塚副会長，橘主席研究員

薄膜旋回分散法を用いた新規生漆の開発

工芸・漆チーム 橘 洋一

これまで京都市産技研で取り組んできた漆精製法開発の知見をいかし、生漆中の水分を更に短時間で高分散状態とするために、生漆に「薄膜旋回分散法」を適用するとともに、分散条件を検討することで従来の生漆と比較して、高光沢度・高透明度を有する塗膜を得ることに成功しました。これにより漆の多様性を高めることができました。

この新規生漆は、京都市新庁舎のエレベーターの扉の塗装に採用され、その特徴である透明度の高さがいかされています。



京都酒造工業研究会創立70周年記念講演会を開催

令和3年7月29日、ホテル日航プリンス京都にて「京都酒造工業研究会」創立70周年を祝して、記念講演会を開催しました。

京都酒造工業研究会は、戦後まもなくの昭和25年に会員相互の技術向上と市内酒造業界の発展を願って創立され、令和2年に創立70周年を迎えました。コロナウイルスの影響で残念ながら1年間延期を余儀なくされた念願の記念講演会では、研究会会員及びOB総勢52名が一堂に会し、甲子園大学の伏木亨副学長と株式会社マクアケの菊地凌輔地方事業部長に「日本酒にしかない魅力や開発手法」についてご講演いただきました。

講演会後には久々に対面で再会した出席者及び講師の先生方とともに、鏡開き・ノンアルコール日本酒での乾杯を行い、当研究会の70年の長きにわたる活動の歴史を祝して、更なる結束を強める有意義な記念講演会として盛会に終えることができました。

今後も京都の酒造業界が発展していけるよう研究会事業を企画し、開催してまいります。
（バイオ系チーム）



シーンに応じて8変化！ マルチに使える飛沫防止パーテーション「Patapata」

京都市産技研では、知恵創出“目の輝き”認定企業である京都樹脂株式会社（京都市下京区）とともに、様々な形状に変化し、幅広いシーンで便利に活用できる飛沫防止パーテーションを開発しました。

コロナ禍におけるパーテーションのニーズは高い反面、空間の雰囲気にとぐわない、テーブルのサイズや席数に柔軟に対応できないという課題がありました。本製品は、これらの課題を解決すべく京都市産技研デザインチームが、

昔ながらのおもちゃである「変わり屏風・からくり屏風」の構造をヒントに「多様な形態に変化するパーテーション」のアイデアを創出し、京都樹脂株式会社とともに開発を進めてきたものです。京都市産技研の1Fロビーのテーブルにも設置しておりますので、ご来所の際には是非ご使用ください。（デザインチーム）



若手作家・職人インタビュー

京都市産技研では、伝統工芸作家・職人として各業界で活躍されている修了生のインタビューをホームページで掲載しています。

ものづくり現場の取材を通して、様々な角度からものづくりの魅力を発信することで、若手の活動をPRしています。詳細につきましては、京都市産技研のホームページ内「若手伝統工芸作家・職人のご紹介」ページにてご覧いただけます。



第19回 たかち さよこ 高地 佐代子 さん

平成26年度 京都市伝統産業技術後継者育成研修 陶磁器コース 修了
平成27年度 京都市伝統産業技術後継者育成研修 陶磁器応用コース 修了



カラフルでキュート。まるで本物みたい！一見無邪気にも思えるお菓子シリーズの作風の裏には、高地さんの仕事への堅実でひたむきな想い、そして京都市産技研陶磁器コースで習得した技術の鍛錬があることを知ることができました。ファンの声、作り手仲間の交流、そして京都市産技研のスキルアップ支援、すべての繋がりが大切という高地さん。クールで誠実なお人柄だけれど明るい笑顔がすてきな若手担い手です。

—— 次代をつなぐ ——
メンバー，京もの活用企業募集中

京もの担い手
プラットフォーム
ninaete
URL <https://ninaete.kyoto>



知恵産業融合センター 成果事例紹介

京都市産技研の技術支援により試作、製品化に至った事例や「知恵産業」をキーワードとする「伝統技術と先進技術の融合」、新たな「気づき」による新技術・新製品開発につながった事例を成果事例集にまとめ、広くPRしています。京都市産技研との共同開発により実用化に至った事例を紹介します。

無鉛フリットを活用した新たな陶磁器の開発

27



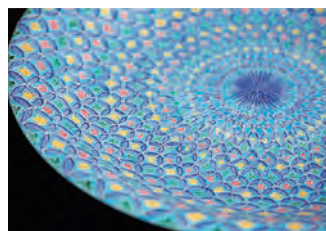
有限会社洸春陶苑 / 京都市産技研 窯業系チーム
(現陶磁器チーム、ファインセラミックスチーム)



事業概要

- 筒で粘土を絞り出して線を盛り上げて描く「いっちん」技法を用いて細やかな文様を描き、その線文様の内側を上絵具のような色釉薬で色分けし、鮮やかな発色が印象的な交趾（こうち）の器や茶道具を製作しています。

陶磁器の絵付け等に使用するフリットを、産技研が開発した、作り手にも使う方にも安心な鉛を含まない新たなフリット（無鉛フリット）に置き換えて陶磁器を制作する中で、従来の釉薬と「書き味」が違う無鉛フリットの特性を十分に把握し、独自の技術確立することで同フリットの実用化への道筋を作りました。



京都市産技研の支援内容

- 産技研の伝統産業技術後継者育成研修において、今回の成果の基礎となる釉薬に関する自主研究の指導
- 研修修了後、産技研開発の無鉛フリットを使った商品開発において、同フリットの特性をいかした釉薬の設計に対する技術支援

成果と事業展開

- 交趾の持つ表現力を生活空間にいかせる調度品等への展開を検討
- 建築内装材（アートパネル・照明・手洗い器等）の更なる販路拡大
- 金属や有機物（木、繊維、プラスチック等）でできた商品等の素材を、今回の技術をいかした陶磁器に置き換え、家電等新たな分野における価値の創出

無鉛フリットは、長い時間をかけて職員の皆様が研究を重ねられ、その使用感について様々な議論をさせていただきました。私たち事業者の課題に真摯に向き合っていたいただいた成果が表れている絵具だと思います。この絵具が開発されたことで、国内はもとより海外に向けても事業の展開が広がり、さらに京焼・清水焼を発展させることができると考えております。



有限会社洸春陶苑
代表取締役
高島 慎一 氏

【企業概要】 企業名 有限会社洸春陶苑
所在地 京都市東山区今熊野南日吉町148番地
電話番号 075-561-5388
事業内容 陶磁器製造



いつでも、あなたの
ビジネスのそばに。

総合力と専門性であらゆる
ビジネスシーンをサポート

創業支援

海外ビジネスサポート

補助金・助成金

ビジネスマッチング

京都中央信用金庫

本店 / 京都市下京区四条通烏丸西入ル

TEL 075-223-2525

FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル)

URL www.chushin.co.jp

京都市産技研へのご寄付について ((株) T・N・J ホールディングス)

この度、株式会社T・N・Jホールディングス様(京都市南区)から、産業技術の向上に関する事業を目的として、京都市産技研に対し1,000万円の御寄付をいただきました。

これを受けて令和3年8月12日(木)に、西本理事長から同社の二九規長代表取締役に対し、感謝状を贈呈いたしました。



ロボット技術導入支援のためのPRデモ機をお披露目

京都市産技研では、生産性の向上や働き方改革を進める企業がロボット技術を導入するための支援として、(株) ツー・ナイン・ジャパン及び(株) 不二越と共に、ロボット技術導入コストを低減するための環境整備を目的とした共同研究を進めております。

この度、地域企業の皆様に、ロボット技術を「身近なもの」と感じていただけるよう、京都市産技研1階ロビーにPRデモ機を展示し、令和3年8月12日(木)に御披露目式を行いました。

当日は京都市から門川市長にもお越しいただいた中、西本理事長から「今回の共同研究は、ロボット導入に関するハードルを下げるために京都市産技研が支援する枠組みであり、今後もこの事例を、京都域内の企業に橋渡しをしていきたい。企業がロボットを導入するきっかけとなれば。」と御披露目の趣旨を説明しました。

皆様も京都市産技研にお越しの際には、是非デモ機をご覧ください、ロボット導入の可能性について、ご相談ください。

※ 展示のデモ機については、予告なく移動することがあります。予め御了承ください。



※展示台用銘板

創業 事業承継
のご相談は京信へ

京都信用金庫

創業専用ホットライン

☎0120-279-642 (平日9:00~17:00)

f 京都信用金庫 企業成長推進部
@kyotoshinkin.incubation



令和3年度 競争的資金新規獲得情報

京都市産技研では、競争的資金も活用しながら研究開発を進めており、これまで、通常は数日かかる食中毒の原因となる汚染微生物の測定を0.5日以内でできる計測装置の開発など様々な成果を創出してまいりました。

令和3年度も、新規採択率が2割台とされる科学研究費助成事業（科研費）では申請した研究テーマの半数以上が採択されるなど、多様なテーマについて競争的資金を獲得しています。

環境対応プラスチックの性能向上・用途拡大！！

セルロースナノファイバー補強によるバイオマスプラスチック用途拡大の推進
環境研究総合推進費／（独）環境再生保全機構
研究機関：京都大学、（一社）サステナブル経営推進機構、京都市産技研

R3～R5実施 担当チーム：高分子系チーム

新型コロナウイルス感染症等の感染時や免疫獲得の簡易検査用標識材料を低コスト化！！

迅速、低コストな抗原・抗体検査のための高機能強磁性金属ナノ材料の開発
研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）／（国研）科学技術振興機構
研究機関：京都市産技研

R3実施 担当チーム：金属系チーム・バイオ系チーム

京都市産技研開発の京都酵母のブランド化を推進します！

「京都酵母」の認知度向上と新製品開発によるブランド価値の創出
日本産酒類海外展開支援事業費補助金（ブランド化・酒蔵ツーリズム補助金）／国税庁
補助事業者：京都市産技研

R3実施 担当チーム：デザインチーム・バイオ系チーム・知恵産業融合センター

科学研究費助成事業
7件中4件が採択！！

基盤研究（C）
セラミックス接合界面での非平衡な気液固反応ダイナミクスの解明と高耐熱接合への応用
R3～R5 小濱 和之

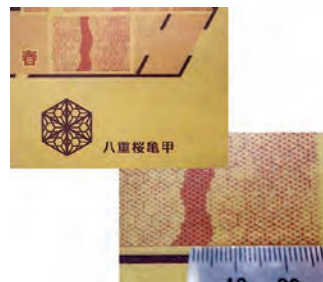
若手研究
液相還元法における核生成-成長プロセス制御による金属ナノ粒子内在欠陥マネジメント
R3～R5 塩見 昌平

規則性多孔質ナノ構造を有する新規X線光学素子を用いたX線回折イメージング法の開発
R3～R5 山梨 眞生

金属被覆セルロースナノ繊維の開発とエネルギー伝導フィラーとしての展開
R3～R5 野口 広貴

陶板にレーザー加工装飾 KRP10号館に採用

KRP10号館（4月オープン）1Fのアルミキャスト装飾壁の説明用陶板（90cm×60cm 2枚）を、デザインチーム・窯業系（現陶磁器）チームが京都市内清水焼事業者と共に製作しました。陶板にレーザー加工で図案を精緻に描き込むもので、レーザー加工機活用による新デザイン表現研究の成果を応用しています。



京都市産技研バーチャルツアーOPEN



京都市産技研ホームページに、バーチャルツアーを公開しました。PCやスマートフォンから、京都市産技研館内（1F）をいつでもどこでも見学できます！

是非この機会にご体感ください。

